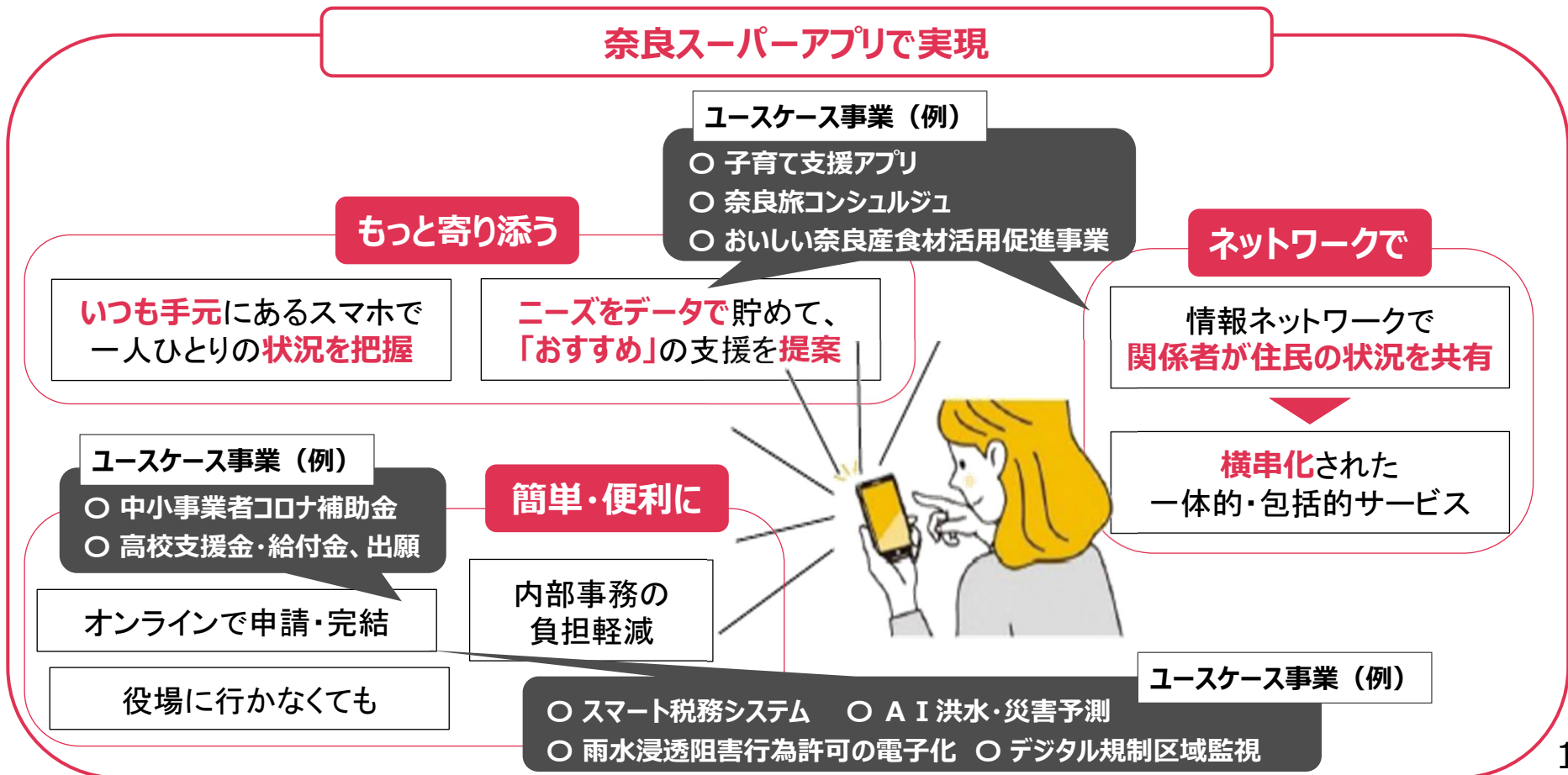


奈良スーパーアプリのビジョン

資料1-2

課題	お困りごと多様化	縦割りに対応の限界	紙で、時間がかかる	膨大な庁内事務
目指す姿	もっと、県民一人ひとりに寄り添ったサービス			
	関係者がネットワークでつながって、業務・施策を実行			
	住民にとって、より迅速に・より簡単に、事務も簡略に			

奈良スーパーアプリで実現



これからの取組の内容

条例により**制度化**された「**県民カード化**」構想の基盤となる**マイナンバーカード**

住民のしたいことを実現し、解決する**モバイルアプリ**

高校修学
支援

観光
情報発信

施設予約
申請

etc

市長村からの
「情報発信」、
「オンライン申請」
に横展開可能

サービス提供

ガバメントクラウドによるクラウドバイデフォルトの実現

用途に応じて最適化されたデータとオープンな標準仕様を提供する
データ連携基盤

連携

連携

行政が提供する住民サービス

県の
行政サービス

市町村の
行政サービス
(標準外)

自治体
標準システム^{※2}

県が主導して
共同利用を支援

共同
利用

市町村

連携

民間、準公共分野と連携・協働し、
組み込み型サービスを提供

民間クラウド
サービス

準公共分野^{※1}の
基盤システム

移行

市町村
業務システム
(既存システム)

県が主導して
標準化を支援

※1 病院、福祉施設、学校、金融機関等

※2 地方公共団体の基幹業務（20業務）システムの統一・標準化

何ができるようになるか

奈良スーパーアプリ

住民のしたいことを実現し、
解決する
モバイルアプリ



+

用途に応じて最適化されたデータと
オープンな標準仕様を提供する
データ連携基盤



共同利用

令和5年度：奈良スーパーアプリ構築
令和6年度～：市町村共同利用を計画

市町村ができるようになること

- 県が作成したアプリを使って、市町村から行政情報、観光情報の発信が簡単に行える
⇒そのまま使って**情報発信が簡単**に
- 共通部品を活用すれば電子申請システムが簡単に開発できる
⇒複雑な**プログラム開発は不要**
- 行政手続きを行う際に納税証明書、住民票を毎回添付することが不要になる
⇒市町村システムと連携することで**各種証明情報を自動的に取得**

支援

県からのサポート

- 導入にあたっての検討や実装を支援
⇒自治体標準システム導入と併せて**奈良スーパーアプリの活用方法や連携方法**について積極的にサポート